



Dai I NAIKA News

平成 27 年 3 月 9 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報誌【第 15 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科

〒514-8507 津市江戸橋2-174

TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

ごあいさつ



伊藤 正明

先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、患者様のご紹介を含め、大学病院との病診連携、病病連携にご協力を頂きまして誠に有難うございます。

第一内科が担当させて頂いております循環器内科、腎臓内科、総合内科および消化器・肝臓内科では、先生方のご協力により順調に診療、研究活動を続けさせて頂いております。

昨年夏から秋にかけて、特に循環器内科の稼働率が目標よりかなり低迷致しておりましたが、先生方のご協力を頂き、紹介いただく患者さんも増加して、現在では大学病院の主要診療科として活動を進めることができます。先生方のご高配に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、附属病院では、新しい外来診療棟が完成いたしました。2月27日に式典が行われ、オープンは5月7日の予定です。2012年1月に新病棟・診療棟が開院して早3年が経過していますが、今回の新外来棟のオープンにより、新しい三重大学病院の姿がいよいよ完成することになります。

“最先端医療が安全に受けられる患者様中心の病院”を基本コンセプトに、新病院の建設を行ってきており、新外来棟でも、患者様に心の安らぎと癒しを提供できる病院環境を構築しました。新外来棟では、診察室を96室から131室へ増設し、高度生殖医療センターの新設、がんセンターや血管ハー

トセンターなどセンター機能の集約化、フロアごとの分散会計計の導入、卒後臨床研修部門の拡充や外来化学療法部の充実、ハイブリッド手術室を含む手術室の増設や手術支援ロボットをはじめ最新設備の導入など、質的向上と量的拡大の両面から診療機能のパワーアップが図られています。

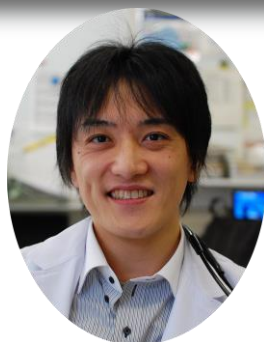
また、新外来診療棟のオープンを機に、外来の再編の行う予定です。内科では、予約制を進め、午後診も取り入れて、新患も可能な限り15:30分まで受付できるよう準備を進めています。また、他の診療科も、今まで以上に外来の曜日偏在をなくせるよう、相談を進めています。今まで医療福祉支援センターが先生方の紹介を受け付ける窓口でしたが、新外来診療棟オープン後は、再来の予約変更などと合わせて新設の予約センターが新患予約を担当させて頂きます。それぞれの診療科によりまして、新患予約など少しずつ異なるところがありますので、今後HPをはじめとしまして、先生方に新しい外来のご案内させて頂く予定です。

2015年春、約40年ぶりにお披露目する新たな三重大学病院のスタートにあたり、今後とも地域に根ざした大学病院として、本院に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



循環器内科・腎臓内科 副病棟医長より

このたび2014年10月1日付で副病棟医長を拝命しました中森史朗と申します。村田智博先生が病棟医長に就任されたのと同時期に新たな役職を設けていただき、第一内科の循環器内科部門の病棟管理のお手伝いをさせて頂いております。専門は循環器内科・救急医療で、大学院生として大学病院に戻ってきてからは、心不全、循環器イメージングに関する臨床研究に携わっております。



中森 史朗

高度急性期医療、希少疾患/難病の診断・治療としての役割を担う大学病院ですが、今後は地域とのより一層の密着・連携が重要であると痛感しております。大学病院は組織が大きいだけに、市中病院のようなフットワークの軽さ

は実際困難ではありますが、先生方が困られた症例のご紹介・受け入れもスムーズに行えるよう、そして何よりもご紹介先の先生方にご満足いただけるような対応を心掛けていく所存です。今月も開催されます病診連携の会（梅檀の会）を通じて、先生方の率直なご意見に耳を傾け、よりよい臨床の場となる大学病院を目指したいと思います。研究面でも、先生方に共著者になっていただき、ケースレポートを報告するのみならず、先生方との密な連携を可能にすることにより、三重での臨床研究普及をすすめ、三重発の大規模臨床研究が発信されることを祈っております。

浅学の身ではありますが、病棟の円滑な運営を通じて第一内科の診療・研究・教育に努力いたす所存でございますので、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



医療安全・感染管理部
田辺 正樹

感染症対策は、多くの法的規制を受けること、また、新たな感染症が問題となる度に、迅速な対応を求められることなど、他の診療領域とは異なる特徴があります。

最近の感染症のトピックスとしては、MERS、鳥インフルエンザ（H7N9）、デング熱、エボラ出血熱など

新興・再興感染症の出現、また院内感染対策上重要な微生物として、多剤耐性菌がクローズアップされています。

感染法上、「1類感染症」から「4類感染症」、及び「5類感染症の一部」については、すべての医療機関において届出が必要になります。2014年9月の感染症法の改正により、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症も5類全数届出疾患となりましたので、注意が必要です。

「新型インフルエンザ」と「新感染症」については、2013年4月に、これらの感染症に特化した新たな法律「新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）」が作られました。新型インフルエンザ等が発生した際には、特措法や行動計画・ガイドラインなどに沿った対応が求められます。また、パンデミック発生時においても診療体制を維持できるよう、すべての医療機関において診療継続計画（BCP）の作成が求められています。

感染症法や特措法とは別に、診療所も含めすべての医療機関は、医療法に基づき、院内感染対策を行う必要があります。院内感染対策に関する「指針の策定」「委員会の開催」「従業者に対する研修の実施」「改善のための方策の実施」を行うこととされています。また、医療法関連通知においてアウトブレイク対応時について規定されています。（1）3例以上耐性菌等を検出した場合はアウトブレイクを疑い対応を開始する。

（2）それでも感染拡大を認めるようであれば地域の医療機関の専門家に感染拡大防止に向けた支援を依頼する。（3）10名以上となった場合や因果関係が否定できない死亡者が確認された場合は、保健所に報告する。といった3段階の対応が示されています。2014年12月に、通知が改訂され、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）」「バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）」「多剤耐性緑膿菌（MDRP）」「バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）」「多剤耐性アシネトバクター属」の5種類の多剤耐性菌については、保菌も含めて1例目の発見をもって、アウトブレイクに準じて厳重な感染対策を実施することとされ、多剤耐性菌については、より厳格な対応が求められています。

感染対策でお困りのことがありましたら、医療安全・感染管理部までご連絡いただければ幸いです。今後とも何とぞ宜しくお願いいたします。

～ おしらせ ～

- 4月4日（土）松阪市民文化会館にて13:00～（講演開始14:00）市民公開講座「あなたのハートは大丈夫？」を開催いたします。

詳細は第一内科 Face Book に掲載します。

- 第一内科外来担当がリニューアルされました。（3月～）

		月	火	水	木	金
総合	初診	山田 岡本 山本	後藤	石川 田辺 荻原	藤井 杉本(和)	森脇 谷村
	初診	山田 岡本 佐藤	藤田 後藤	田辺 荻原	藤井 熊谷 武内	谷村 森脇
循環器	再診	藤本(直),増田 栗田/土肥 PM 外来 香川	杉浦(英)	岡本	中森 松田	山田 藤井 土肥
	初診	藤本(美)	休診	石川	村田	伊藤(貴)
腎臓	再診	石川	休診	休診	休診	村田
	初診	山本			白木	
消化器・肝臓	再診	白木 杉本(和) 小倉		山本	杉本(和)	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火、木曜日の外来（担当：藤田、藤井）に御紹介をよろしくお願い申し上げます。
PM 外来＝ペースメーカー外来（1,2,3週のみ）

● 第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/>

三重大学病院循環器内科，腎臓内科
～患者様をご紹介ください～

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」（三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可）に必要事項を御記入の上、FAX059-231-5541 に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2. 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科，腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科，腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科，腎臓内科連絡先（直通）
内科外来：059-231-5146 病棟：059-231-5101
F A X：059-231-5518 研究棟：059-231-5015
患者様の紹介、相談にご活用ください。

本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

